

講師

中川 美幸

■ 学歴

1. 2020年 福岡県立大学 修士課程卒業

■ 学位

1. 2020年 修士（社会福祉学）

■ 研究分野

1. 医療分野のソーシャルワーク
- 2.
- 3.

■ 研究キーワード

1. 意思決定支援
2. 退院支援
3. 多職種連携

■ 研究課題

1. 診療報酬上で在宅に退院することに点数がついている今日、医療ソーシャルワーカーは果たして現場で、クライアントの意向を丁寧に確認した退院支援を行うことができているのか。退院先（療養先）を決めることで、退院支援になっていないか。現場の現状を明らかにし、クライアントの望む暮らしを聴くために役立つ技法などについて考察する。

■ 担当授業科目

1. ソーシャルワークの理論と方法（専門）（通年）（福祉学科）
2. ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（通年）（福祉学科）
3. ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（通年）（福祉学科）
4. ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ（前期）（福祉学科）
5. ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ（後期）（福祉学科）
6. ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ（前期）（福祉学科）
7. ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ（後期）（福祉学科）
8. ソーシャルワーク演習（後期）（福祉学科）
9. 福祉入門（前期）（福祉学科）
10. 保健福祉学入門（前期）（看護・福祉・栄養学科）
11. 専門研究Ⅰ（通年）

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	<p>授業科目名【ソーシャルワークの理論と方法（専門）】</p> <p>ソーシャルワークの実践を行う上で問題を抱えた人々を「人と環境の相互作用」と理解する視点を学べるよう努めた。また実践モデルとアプローチ等といった問題解決を図るための基盤となる理論を通して、社会福祉の専門職としての心構え、態度などをイメージできるように、現場での事例を用いて理解を深められるよう工夫した。</p>
2.	<p>授業科目名【ソーシャルワーク実習指導Ⅰ】</p> <p>医療ソーシャルワーカーの役割と病院機能など、実習で必要となる基礎知識を中心に実施。また、動画の活用や、現場の経験などを伝えることで、医療ソーシャルワーカーについての理解が深まるよう工夫した。また、実習終了後の振り返りでは、現状と課題を整理し、3年時の実習につながるよう努めた。</p>
3.	<p>授業科目名【ソーシャルワーク実習指導Ⅱ】</p> <p>実習前にはグループごとに病院機能などについて、調べ学習をし、全体で共有することで実習に必要な知識が定着するよう努めた。また、ロールプレイを行ったり、医療ソーシャルワーカーの業務指針や倫理綱領について学ぶ時間を取り、より具体的に医療ソーシャルワーカーの業務を理解し、実習に臨めるよう工夫を行った。実習後の振り返りを一人ずつ発表し、全員で共有することで実習報告会の準備を全員で行えるよう努めた。</p>
4.	<p>授業科目名【ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】</p> <p>事例を個人ワークで考えた後にグループディスカッションを行うことで、より深くソーシャルワークの視点や価値観、倫理観などを学べるよう努めた。また、アセスメントでは、問題点にのみ目を向けるのではなく、本人の持っているリソースにも目を向けるよう努めた。ロールプレイも積極的に取り入れ、実習や現場でも活かせるよう配慮した。加えてロールプレイでは、クライアント体験から専門職の態度や価値観、倫理観についても考えられるような演習を行った。</p>
5.	<p>授業科目名【ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ】</p> <p>地域に関する事例を個人ワークで考えた後にグループディスカッションを行うことで、より深くソーシャルワークの視点や価値観、倫理観などを学べるよう努めた。地域の課題のみならず、強みにも目が行くよう努めた。実際に地域を歩き、使わなくなった産婦人科をリノベーションし、新しい地域拠点の場所として利用している場面を見学し、体感することで学ぶ工夫も行った。</p>
6.	<p>授業科目名【ソーシャルワーク演習】</p> <p>まずは知識を楽しみながら学ぶため、絵本など身近な物を使いながら演習に慣れてもらうよう工夫した。事例の検討では、個人ワーク後にグループワークを行い、まずは自分の考えをまとめ、人に伝えることができるよう行った。他の授業で習得した知識が演習とリンクできるように、現場での体験も交えながら、わかりやすい言葉を使うよう心掛けた。</p>
7.	<p>授業科目名【福祉入門】</p> <p>医療ソーシャルワーカーが病院でどのような実践を展開しているのかを現場の状況交えながら伝え、学生の医療ソーシャルワーカーへの関心を高めることができるよう工夫した。</p>

8.	<p>授業科目名【保健福祉学入門】</p> <p>医療機関における多職種連携や協働について、現場の状況交えながら伝え、学生の医療ソーシャルワーカーへの関心を高めることができるよう工夫した。</p>
9.	<p>授業科目名【専門研究Ⅰ】</p> <p>学生の興味のあるテーマを中心にディスカッションを行った。自分の考えをまとめる力をつけることができるよう、必要に応じ参考文献なども示した。また、実際の現場を見学し、学生が現場を体感できるよう工夫した。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1990年7月～	福岡県医療ソーシャルワーカー協会	理事（2010年～2022年6月迄） 副会長（2014年～2022年6月迄）
2.	2010年4月～	日本医療ソーシャルワーク学会	理事（2010年度～現在に至る） 事務局長（2015年～2020年5月迄） 会長（2020年6月～現在に至る）
3.	2017年4月～	日本医療・病院管理学会	
4.	2019年4月～	日本社会福祉学会	
5.	2022年10月～	日本医療ソーシャルワーク協会	

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は発表の年月	著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)					
1.	2023年4月	「医療福祉総合ガイドブック2023年度版」	共著	医学書院	<p>① 本書は、新人の医療ソーシャルワーカーや医療ソーシャルワーカーを目指す学生、医療・福祉従事者、福祉サービスを利用する当事者や家族向けに作成したガイドブック。</p> <p>② 編集者名：村上須賀子、佐々木哲二郎、大垣京子、中川美幸、他8名</p> <p>③ 担当部分 第2章医療に関する諸制度（P47～P82）</p>

2.					
3.					
(学術論文)					
1.	2024年3月	ドイツの女性運動と社会的職業の誕生	単著	NPO 法人かごしま福祉開発研究所『福祉開発研究』(第7号)	① 19世紀から20世紀初頭のドイツにおける女性運動と社会的職業について述べる。1848年の3月革命以降、女性運動は「全ドイツ女性協会」を通じて拡大し、女性の雇用機会や権利保障に影響を与えた。特に「ドイツ女性団体連合」穏健派の取り組みを通じて、女性は福祉や教育分野での進出を果たした。1901年には女性の大学進学が許可され、様々な分野で活躍する道が開かれる。このような状況から考えると、少なからずとも母性が女性の社会進出を後押しし、ドイツ社会における女性の地位向上に貢献したといえる。 ② P11
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
----------	--	--	--	--

	研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2022年6月1日～現在に至る	北九州市精神保健福祉審議会	委員
2.	2020年6月～現在に至る	日本医療ソーシャルワーク学会	会長
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2023年4月～現在に至る	就職委員会	
2.	2023年4月～現在に至る	キャンパスハラスメント委員会	
3.			